

リーマン・ショック後の貿易好調品目

増田 耕太郎 *Kotaro Masuda*

(財)国際貿易投資研究所 研究主幹

要約

- 1 リーマンショック後、各国の貿易は急激に落ち込み、ほとんどの国が2008年11月前後に前年同月比でマイナスに転じた。前年同月比がプラスとなって回復の兆しが見えはじめたのは1年後の2009年11月以降の国がほとんどである。
- 2 先進国と途上国（新興国）と上位品目、堅調な動きを示した品目が大きく異なる。それは、前者の代表を米国とすると最終財、後者の代表を中国とすると工業用原材料に属する品目が目立つ。
- 3 堅調な動きを示した品目に共通するキーワードを選ぶとすれば、米国は『医療・健康』、『情報通信機器』『貴金属・ジュエリー類』『食料品および生活用品』、『環境・エネルギー』である。いずれも今後の貿易のみならず、おそらく多くの国で高い需要増加が見込まれる分野に目立つのが特徴である。中国では『電気・電子部品』、『一般機械部品』等の機械部品、金属・化学品等の『素材・中間財』に集中する。大量生産・大量消費に向けた輸入ということが出来る。
- 4 それだけに競争が激しくなることが予想される。貿易が縮小した時期でも、増加した品目は、今後も拡大が見込れる。

リーマン・ショック後の金融危機は、各国の貿易に大きな影響を与えた。主要国・地域の輸出（入）総額の対前年同月比の動きをみると、多くの国は 2008 年の夏頃から下降傾向にあり 11 月前後にマイナスに転じている。2009 年 1～5 月頃が総じて最も落ち込みが大きく、その後徐々に上昇傾向に転じ 11 月以降に前年同月比がプラスとなっている。その結果、2009 年（通年）でみると前年比で増加している主要国は見当たらない。

総額ベースで落ち込みが大きくても、貿易相手国別あるいは個別品目レベルでみると増加している例は稀ではない。本稿では、主要国の貿易統計から 2009 年の貿易額が前年（同期）と比べて増加した品目に注目し増加した品目と日本からの輸出との関係について考察することにする。

1. 前年比 30%以上の減少となった 2009 年の日本の貿易

2009 年の日本の輸出額は 5806 億ドルで前年に比べ 25.8%減である（輸入は同 27.8%減）。円建て輸出で

は前年比 33.1%の減少（輸入は同 37.8%減）である。輸出、輸入ともに前年に比べ 30%以上も下落したのは戦後では初めてである（注-1）。

日本の減少を主要国と比較すると、日本の落ち込みは際立って大きく輸出と輸入の減少率の最大が 40%を超えたのは日本と台湾だけである。

日本の輸出額の減少は財務省の貿易指数からも明らかのおおりに、輸出数量の減少による（注-2）。主力輸出品目だけでなく、数量が減少している品目が多い。

2007 年の輸出でみると HS6 桁レベルの品目で 1000 万ドル以上の品目数は 2,026 あった（輸入の品目数は 2,494）。その増減状況を図-1 で取りまとめている（注-3）。

輸出の 2,026 品目のうち、2009 年の対前年比で輸出額が減少した品目数は 1,684 で、83.1%を占める。さらに、数量の増減が分かる品目（1962 品目）に限ると、

- ①前年に比べ数量が減少した品目数は 1604 で 81.8%を占める。
- ②そのうち、単価が上昇しても数量が減少したために輸出額が減少した品目が 859 と最も多い。

図ー１ 日本の品目数の増減（2008年と2009年比較）～HS6桁レベル

日本の対世界輸出				日本の対世界輸入	
品目数	2,026			品目数	2,494
価額増加	341	増加	数量増加&単価上昇	79	160
価額減少	1,684		数量増加&単価下落	124	186
数量増加	358		数量下落&単価上昇	131	194
数量減少	1,604	減少	数量減少&単価下落	614	931
単価上昇	1,070		数量減少&単価上昇	859	776
単価下落	893		数量増加&単価下落	155	207
			その他	64	40

③単価の下落と数量の減少の両方が影響して輸出額が減少した614品目を②の859品目を加えると、1473となり、87.5%を占める。

このことから、日本の輸出額の減少は、品目数でも輸出数量の減少が大きな影響を及ぼしていると思われることができる。

具体的にどのような品目の輸出が増えているのか。先進工業国向け輸出の例として米国を、新興国向け輸出の例として中国を選び、相手国の輸入統計を中心にみていくことにする。

2. 米国の輸入市場における日本製商品の輸入

先進工業国の代表に米国を選び、輸入が増えた品目を対世界および対

日本でみている。

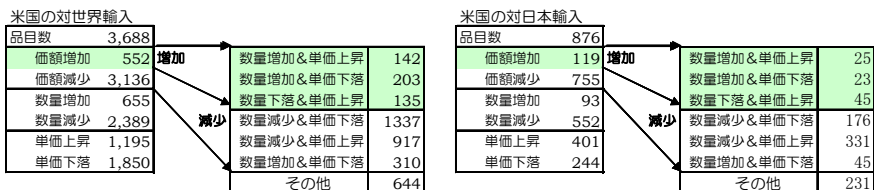
2009年の米国輸入額は1兆7310億ドルで前年に比の25.9%の減少だった。そのうち、HS6桁レベルで1000万ドル以上の輸入額があった品目数は3688で、その増減は図-2のとおりである。

対日輸入額は1,066億ドルで、前年に比べ約482億ドル減少の31.1%の減少だった。

HS6桁レベルで対日輸入額が1000万ドル以上の品目は876品目あり、その増減数をみると、次のとおり(図-2)。

- ①対日輸入額が増加した品目数は119で全体の約13.6%である。反対に減少したのは755品目(約86.2%)と圧倒的である。
- ②対日輸入額が増えた要因を数量と単価の変化でみると、単価の上昇

図一 米国の品目数の増減（2008年と2009年比較）～HS6桁レベル



と数量の増加によるものが 25 品目を占める。単価が下落して数量増による輸入額の増加は 23 品目。数量減であるが単価が上昇したために対日輸入額が増えた品目数が 45 と最多である。このことから、日本製は単価の上昇にも関わらず輸入増加となったのが少なくないことが分かる。

米国の総輸入額が落ち込む中で増加した品目に共通するキーワードを選ぶと、次のものである。

- ①「医療・健康」
- ②「情報通信」
- ③「貴金属・ジュエリー等の身近雑貨」
- ④食料品および生活用品
- ⑤環境・エネルギーなどである。

○「医療・健康」関連分野は、医薬品、医療機器および関連用品である。

増減率がプラスであった品目を輸入額が大きい順に並べると、1 位が医薬製剤 (HS3004.90)、9 位が血液製剤 (HS3002.10)、11 位が医薬用針・カテーテル (HS9018.30)、18 位にワクチン製剤 (HS3002.20)、23 位にアルカロイド製剤 (HS3004.40)、26 位にインシュリン製剤 (HS3004.31) などが上位にある。次いで、整形外科用機器 (HS9021.10)、心臓ペースメーカー (HS9021.50)、コンタクトレンズ (HS9001.30)、補聴器 (HS9021.40) などが『医療・健康』関連の輸入増加品が目立つ。

日本からの輸入でも「医療」関連分野が少なくない。増加した品目の輸入額が大きい 2 位に医薬製剤

(HS3004.90 15.1 億ドル)、10 位に外科等医療機器 (HS9018.90)、11 位に医療用管針 (HS9018.39 などが上位にある。)

「医療・健康」分野の輸入増は米国だけではない。多くの先進国等に共通的に見られる特色である。例えば、医薬製剤 (HS3004.90) が上位 50 番以内にあって輸入が増えている国の例に、オーストラリア (5 位)、ブラジル (9 位)、カナダ (4 位)、フランス (9 位)、ドイツ (4 位) など。しかも、これらの国では対前年同期比で増加した品目の中で輸入額が最も多い 1 位でもある。

これらの結果から多くの国で医薬品を含めた医療関連分野の輸入は、景気後退等の影響を比較的受けていないこと、人口の高齢化が進み医療費が増加していること、より良い医療サービスを提供するために輸入を増やしていることを窺わせている。この分野は、これからも有望であるに違いない。

○情報通信機器分野でみると、輸入額が増えた品目の中で金額が多い 2 位に携帯電話機 (HS8517.12)、3

位にコンピュータ部品 (HS8473.30)、4 位にデジタル機器 (HS8471.50)、13 位にビデオ録画・再生機器 (HS8521.90) など上位にある。

それらの品目の日本から輸入増の上位に見当たらない。4 番目の電子ゲーム機器 (HS9504.90) があるに留まる。

○貴金属・ジュエリー等の身近細貨類では 8 位に「金」(HS7108.12)、21 位に銀製のジュエリー (HS7113.11) など。65 位に卑金属製でない模造ジュエリーがある。貴金属価格の高騰による効果が大きいと見られる。この分野で日本からの輸入増加品目は、上位品目には見当たらない。

○食料品を含む「生活用品」類。食料品には、14 位の魚の切り身 (HS0304.29)、20 位のウオッカ (HS2208.80) のほか、バナナ (HS0803.00)、その他の加工食品 (HS2106.90) 生鮮ぶどう、えび類、ココア豆が 40 位以内にある。アボカド、パイナップルなど。比較的輸入に依存している食料品は好調

であった。

食料品以外では、履物(HS6405.20)、乾燥機能付洗濯機(HS8405.20)上位30位前後にあり、50～60位のドレス、紳士・男児用パンツなどが集中している。

日本製は4000万ドル前後の輸入量で魚の加工品や切り身、その他の加工食品がある。いずれも単価の上昇で数%台の伸びである。

パーソナル・ケア関連の商品も小額ながら増加している。例えば、日本からの輸入ではマニキュア(HS3304.30)が、2007年の20万ドルから2009年の610万ドルと2年間で約30倍増となっているが目立つ。

○「環境・エネルギー」分野、米国全体からみると輸入増加品目の上位にない。ところが、対日輸入に限ると、日本から輸入増加した品目の上位に「環境・エネルギー」に関連した品目が集まる。この分野でトップにあり全体の6番目に風力発電用の発電機(HS8502.31約6.5億ドル)がある。前年比51.8%増で、数量で26.0%、単価

も20.5%増であった。リサイクルプラント(HS8419.40)は25位であるが前年比61.9%増(数量は82.6%増)と大きく伸びた。

その他20位以内にある品目では、ガスタービン部品(HS8411.99)、蒸気タービン部品(HS8406.90)、(HS8502.20)、発電機(HS8501.64)など。これらの分野を「環境・インフラ整備」分野と読み替えれば、石油・ガス用パイプ(HS7305.11)も加えてもよいだろう。そうした品目の輸入額は米国全体では下位にあるが、今後は輸入増加が見込まれる。風力発電機は欧州諸国からの急増ぶりが目立つなど競争が激化している。

3. 中国の輸入市場における日本製商品の輸入

中国の輸入で増加品目の特徴は、米国市場と異なる様相を示している。2009年の輸入額が1000万ドルを超える2507品目のうち、前年を上回る品目数は798と日本の341品目や米国の552品目より多い。

その増加上位品目の特徴を挙げると、部品、素材に集中する。

①機械機器部品

②素材（金属、化学品）

③耐久消費財

電気・電子部品や一般機械類部品などの機械機器部品も素材も中国の工業生産に欠かせないもの。輸入全体が落ち込む中で堅調な動きであったこと、個別の品目の変化はあっても大勢は変わっていない。

なお、上記3分野に含まれない品目のうち上位50位以内であるのは、20位の医薬製剤（HS3004.60）、41位の冷凍魚類である。

輸入増加品目の特徴は機械類の部品である。

○電気電子部品の中で輸入増加の品目の中で輸入額の1位が集積回路（IC：HS:8542.38）。ICの輸入は中国の全輸入品目の中でも上位7番目に相当する。2位は電話機部品（HS8517.70）、8位の整流器（HS8504.40）。12位に増幅器（HS8542.33）、14位にルーター等の通信機器（HS8517.62）と上位に並ぶ。他にもダイオードなどの電子部品の輸入は好調である。

○電気・電子部品以外の機械機器の部品で上位にあるのは、7位にプリンタ・複写機等の部品（HS8443.99）、10位に自動車用ギアボックス（HS8708.40）。16位に逆止弁（HS8481.80）、22位の自動調整装置（HS9032.89）など。

○機械機器部品のうち、日本からの輸入増となったのはギアボックスが1位、自動車部品（HS8718.99）が5位自動車用などのエンジン（HS8409.91）など自動車関連の部品が20品目中5品目、他の機械機器部品を含めると部品が13品目を占める。このことから、日本が依然として中国にとって機械機器部品の調達先となっていることが分かる。

○素材（金属、化学品）で上位のある品目を金属と化学品で分けてみる。金属では、3位に精錬銅（HS7403.11）。金属のスクラップでは、5位の銅の屑（HS7403.11）、15位のニッケル屑（HS7502.10）、17位にアルミ屑（HS7602.00）、27位に鉄屑（HS7204.49）などある。先進国の需要が低迷するなかで積極的に購入した様子が分かる。鉍

石では、26 位に石炭 (HS2701.12)、28 位に鉛鋳 (HS2607.00)、39 位に亜鉛鋳 (HS2608.00) などがある。化学品ではポリプロピレン (HS3902.10) が 9 位、ポリエチレン (HS3901.20) が 11 位、1 9 位がエチレン・ポリマー (HS3901.90) など。

その他のものでは 19 位のケミカル・ウッドチップ (HS4703.29) など。

○素材系品目で日本からの輸入増加となったのは、ポリエチレンテレフタレート (HS3902.62)、

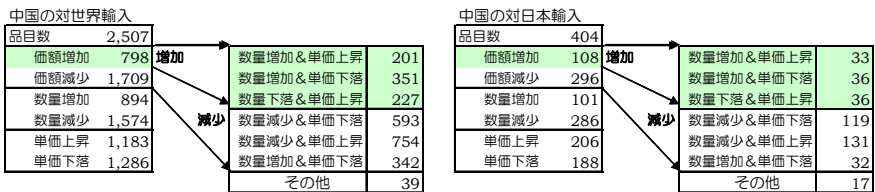
塩化ビニール (HS2903.21) などがある。

○耐久消費財で輸入増加となったのは、6 位の乗用車 (1500~3000cc : HS8703.23)、12 位のビデオカメラ・デジタルカメラ (HS8525.80)。

そのうち、乗用車は日本製が 34% を占め、日本からの輸入増加品目の 5 位である。

○それ以外では、4 位の航空機 (HS8802.40)。32 位の非工業用ダイヤモンドなど。

図一 3 中国の品目数の増減 (2008 年と 2009 年比較) ~HS 6 桁レベル



注：品目数は各国共通の HS6 桁レベル (約 5500) でリーマンショック以前の 2007 年以降の価額が 1000 万ドル以上あった品目を対象にした。品目の増減は 2008 年との比較で行った。

出所：日本、米国、中国貿易統計

4. まとめにかえて

米国と中国の輸入額の増加品目を手がかりに、これからの輸出を考えると次のことが言えそうである。

第1は、先進諸国と新興国の間で増加品目の特徴が異なるように見えること。米国で輸入額が減少しなかった品目は、景気回復後も増加を示す可能性が高い。「医療」「環境」・・・など、多くの国で求められている分野である。それだけに競争が激しく。日本製の良さを発揮できる分野に、より特化し国内市場と先進国市場を一体化した商品の開発が求められそう。このことは、消費構造が変わりつつあり、「大量生産」「大量消費」「価格競争」を基本とするのではなく、「品質」「使い勝手の良さ」「特許等知的財産として保護されるもの」「省エネ・省資源」などを重視した小口の需要を対象にしたセグメント化した商品に主流が移りつつあることを予感させている。

一方、大量生産、大量消費型のスタイルは新興国に移っている。中国の輸入増加の品目のうち輸入額が大きいものが部品、中間財や素材など

に集中していること、輸入数量の大きさからも裏づけられる。そうしたなかで、輸入の伸びが顕著であるのは機械工業部品で日本からの輸入も多い。ただし、輸入品目を仔細にみると、輸入先の変更や国内生産の増加などから、個別品目レベルでみると品目の変動が激しい特徴がある。

その一方で、医薬製剤の輸入の増加やビデオカメラ・デジタルカメラ、乗用車の耐久消費財も増加し、原材料に留まらない傾向が見える。おそらく、中国製品と差別化した高級品であると推測できるが、シェア変動が大きいから競争が激しいことに変わりがない。

先進国でも新興国でも共通して言えそうなことは、成長分野は競争が激しいこと。このため、日本の輸出統計や日本企業サイドの販売からみて増加であっても、輸出先市場で十分なシェア低下となっている恐れがあることだ。また、携帯電話機、コンピュータ機器などの輸入が増えていくにもかかわらず、日本からの輸入が少ない分野も目立つ。

このため、本調査をさらに広げ、

日本の輸出増であっても相手国市場でシェア低下となっていないのか、日本からの輸入減少となっている品目の特徴は何か、その背景にあるのは何かなど、さらに分析を深めていきたい。

(注)

- 日本の貿易額が輸出入ともに) 前年比で 2 桁台の落ち込みとなったのはプラザ合意後の円高となった 1986 年以來 (輸出 15.9%減、輸入 30.7%減) である。それを上回る大きな減少は戦前に遡る。単純に比較できないのを承知で前年比が 30%以上の減少となったのは、昭和恐慌の 1921 年、世界大恐慌の 1930 年、第 2 次世界大戦の敗戦の 1945 年である。

表 日本の貿易～対前年比の減少率

(%)

	輸出額	輸入額
1921	-35.7	-30.9
1930	-31.6	-30.2
1945	-74.0	-50.8
1986	-15.9	-30.7
2009	-33.1	-34.8

注：円貨建の貿易額で計算

出所：日本貿易統計、日本貿易精覧より作成

- 財務省の貿易指数 (2005 年基準) の対前年比増減率 (%) は下表のとおり。

表 日本の貿易指数

(対前年増減率%)

	日本の輸出総額		
	価額指数	数量指数	単価指数
2005	7.3	0.8	6.4
2006	14.6	7.7	6.4
2007	11.5	4.8	6.4
2008	-3.5	-1.5	-2
2009	-33.1	-26.6	-8.9
	日本の輸入総額		
	価額指数	数量指数	単価指数
2005	15.7	2.9	12.5
2006	18.3	3.8	13.9
2007	8.6	-0.2	8.8
2008	8	-0.6	8.6
2009	-34.8	-14.4	-23.8

出所：財務省関税局

- 【分析の HS6 桁レベルの品目データ】

本稿での分析対象データの 2009 年の貿易額は 1～12 月までの累計値、あるいは 2009 年年計の速報値を使用している。また、特に断らない限り、HS6 桁レベルの品目で 2008 年あるいは 2009 年時点のいずれかの輸出 (入) 額が 1000 万ドル以上のものを対象にしている。

表－1 2009年の米国の対日輸入増加品目（上位）

単位：100万ドル %

2007年実績が1,000万ドル以上：876品目			2009年 対前年増減率(%)			
順位	HS	品目名(略称)	価額 (100万 ドル)	価額	数量	単価
9	880330	Parts Of Airplanes Or Helicopters, Nesoi	2,197.6	20.3	9.5	9.9
15	300490	Medicaments Nesoi, Measured Doses, Retail Pk Nesoi	1,514.8	34.5	1.1	33.0
31	293379	Lactams (Excluding 6-Hexanelactam) Nesoi	1,033.0	47.5	-32.6	118.9
34	950490	Game Mach Ex Coin; Bd Game; Mah-Jong; Dmnoes; Dice	697.2	2.0		
56	852691	Radio Navigational Aid Apparatus	452.7	4.0	-36.6	64.1
58	850231	Generating Sets, Electric, Wind-Powered	645.8	51.8	26.0	20.5
59	401120	New Pneumatic Tires Of Rubber, For Buses Or Trucks	444.1	5.9	-18.0	29.2
77	382200	Composite Diagnostic/Lab Reagents, Exc Pharmaceut	318.6	3.9		
112	841199	Gas Turbine Parts Nesoi	269.3	31.4		
119	901890	Instr & Appl F Medical Surgical Dental Vet, Nesoi	207.7	8.5		
146	901839	Med Needles. Nesoi, Catherers Etc And Parts Etc	183.3	15.2		
149	902750	Instruments Etc Using Optical Radiations Nesoi	161.9	3.7	-54.5	128.0
164	902290	X-Ray/Hi Tnsn Genr Cntr Pnl & Dsk Exm/Trtmnt Tb Pt	144.9	3.1		
167	840690	Parts For Steam And Other Vapor Turbines	156.8	15.1		
171	850220	Generating Set W Spark-Ignition Int Combustion Eng	187.7	39.6	22.1	14.3
176	730511	Pipe, Oil Line Etc Ov16In Ir St, Long Sub Arc Weld	134.6	4.4	-17.6	26.6
183	842129	Filter/Purify Machine & Apparatus For Liquid Nesoi	121.1	4.0	-16.0	23.8
187	850164	Ac Generators Of An Output Exceeding 750 Kva	182.1	59.2	-21.8	103.4
205	842199	Filter/Purify Machine & Apparatus Parts	100.6	2.3		
208	030729	Scallops Incl Queen, Frozen/Dried/Salted/In Brine	100.4	4.3	6.5	-2.1

出所：米国貿易統計

表－2 2009年の中国の対日輸入増加品目（上位）

2007年実績が1,000万ドル以上：1049品目			2009年 対前年増減率(%)			
順位	HS番号	Description	価額	対前年増減率(%)		
			(100万 ドル)	価額	数量	単価
6	870840	Gear Boxes For Motor Vehicles	3,145.7	32.9	640.5	-82.1
7	854232	Memories, Electronic Integrated Circuits	2,867.0	23.8	7.0	15.7
12	870323	Pass Veh Spk-Ig Int Com Rcpr P Eng >1500 Nov 3M Cc	2,217.8	26.7	10.4	14.8
19	740311	Refined Copper Cathodes And Sections Of Cathodes	1,616.8	16.0	72.9	-32.9
30	870899	Parts And Accessories Of Motor Vehicles, Nesoi	915.5	12.2	7.2	4.7
31	851770	Pts Of Phone Sets & Oth App For The Trans/Recp Et	1,180.0	45.7	11.2	31.0
37	840991	Spark-Ignition Int Combustion Piston Eng Pts Nesoi	804.9	15.2	22.4	-5.8
39	854160	Mounted Piezoelectric Crystals	681.0	2.1	2.8	-0.7
40	870829	Pts & Access Of Bodies Of Motor Vehicles, Nesoi	721.4	10.0		
41	903289	Auto Regulating Ins & Appr Ex Throstat, Mnstat, Etc	666.7	8.4	14.8	-5.6
54	840734	Spark-Igntn Recrptng Piston Engine Etc > 1000 Cc	627.9	29.6	14.9	12.9
56	722511	Flt-Rlld Grain-Ornted Silicon Electrl Stl 600Mm Ao	658.2	41.0	39.4	1.2
57	392062	Plates Etc, Noncell Etc, Polyethylene Terephthlat	527.3	19.5	18.8	0.6
58	290321	Vinyl Chloride (Chloroethylene)	586.8	37.4	80.9	-24.1
60	854233	Amplifiers, Electronic Integrated Circuits	466.2	10.2	-2.4	12.9
62	731815	Threaded Screws And Bolts Nesoi Of Iron Or Steel	430.7	6.8	4.0	2.6
64	840810	Marine Compress-Ignin Combustion Piston Engine Etc	421.5	7.6	-45.0	95.6
65	848180	Taps Cocks Etc F Pipe Vat Inc Thermo Control Nesoi	407.1	5.3	-32.3	55.6
68	870830	Brakes And Servo-Breaks; Parts Thereof	394.1	5.3	9.2	-3.6
71	370790	Chem Prep, Photo Use, Meas/Rtl Sale, Nesoi	379.4	6.7	-7.0	14.8

出所：中国貿易統計